

おやこミ **note**

oyacomimi



2010

ISHIKAWA
財団法人 いしかわ子育て支援財団
KOSODATE





まっすぐ前を向いて、
笑顔で駆け出していく子どもたち。
小さな背中に大きな夢を乗せて――

ほんの少し、あなたの支えを子どもたちへ。
家庭も企業も、地域も地球も、
みんなの力がつながりあえば、
未来はきっと鮮やかに輝き出すはずだから。
いしかわ子育て支援財団は、
つながる力と力をさらに強く大きく育てながら、
子どもたちをみんなで支える
社会づくりに奔走しています。

子どもの明日に、あなたの力を。



巻頭特集 しあわせアドバイザー「縁結びist」座談会

しあわせの後押しをー 3

サービス充実、浸透する

プレミアム・パスポート事業 7

赤ちゃんから学ぶ 相手を思いやる心、命の尊さ

赤ちゃん登校日事業 8

広がる支援の輪

ふるさといしかわ子育て応援ファンド 9

子育て家庭をみんなで!

子育て家庭支援 10

地域も企業もみんなで子育て

日本海・子育て支援メッセ 12

健やかに育て!未来の担い手

いしかわ子ども交流センターの活動 13

サポート多彩!

お役立ち!情報発信コーナー 14

巻頭特集 しあわせアドバイザー「縁結びist」座談会

しあわせの後押しをー

活躍中の『縁結びist』たちが、
日々の苦労や喜びを語る。

「しあわせ発見事業」が5周年を迎えました。当事業は、独身男女の結婚を後押しして少子化対策の一助とするものですが、結婚の仲介を望む声が増加し、最近では全国からも多数寄せられている状況です。今回は当事業の要である、しあわせアドバイザー「縁結びist」にお集まりいただき、日頃の活動を語っていただきました。

参加者 [50音順 敬称略]

小橋 徳子 (七尾市)
田川 富美子 (金沢市)
田尻 恵子 (金沢市)
百海 貞子 (中能登町)
中西 浩一郎 (金沢市)
西野 すみ (金沢市)
南川 貞夫 (小松市)
南川 真澄 (小松市)
吉田 千代喜 (金沢市)

司会 谷内 迪子
(いしかわ子育て支援財団常勤理事)



「社会の役に立てれば」 そんな思いがきっかけに

司会 縁結びistさんの熱意のおかげで、5年間で185組成婚(平成22年1月末現在)というすばらしい結果が出ています。本当にありがとうございます。今日は、縁結びistを代表して、平成20年・21年度年間5件以上の縁組をなさって理事長表彰を受けられた方々にお越しいただき、日頃の思いなどをざっばらんにお話しただけこうと思います。ではまず、どうして縁結びistになられたのか、そのあたりからお聞かせいただけますか。
小橋 私はもともと地元の七尾市で結婚相談員をしておりまして、縁結びistの養成が始まったときに市から紹介されて参加いたしました。縁結びistになったおかげで活動の場もずいぶん広がったように思います。

百海 私は勤めていた頃に友達感覚で縁談をお世話したことがあり、それを見ていた主人が、町の結婚相談員とか縁結びist養成などの情報を見つけるたびに「やってみては」と後押ししてくれたのがきっかけです。養成講座を受講するまでは自己流でしていたのですが、講座で学んだことが今大変役に立っています。
田尻 身内の縁談をお世話したことがスタートです。皆さんに喜んでいただけたのがうれしくて、これほど喜んでいただけるのなら、もっと頑張ってみようと思いました。

西野 私は以前から仲人のようなことをしておりまして、縁結びistがスタートしたときも、ぜひとばかりに申し込みました。定員オーバーのところを押しかけて無理やりに…(笑)。おかげさまで友達もでき、世間も広がり、生活に花が咲いたような気がしています。
南川貞 私は小松の住人で、退職後民生委員をしていたのですが、しょっちゅう「うちの子にいい人はいないか」と相談を持ちかけられてまして…。新聞で縁結びistの養成が始まると知って「これはいい」と思い、妻と一緒に申し込みました。

中西 私は定年退職を迎え、何か社会に貢献できることはないかと考えていた頃に縁結びistの存在を知り、それで始めた次第です。



南川真 夫婦で縁結びistをしています。私の場合、姑の影響が大きいですね。義母は地域の活動に尽力した人で、縁談のお世話もよく頼まれ、私も運転手役で一緒に行動していました。ちょうどお世話しようにも紹介する情報が全然ない時期があり、そんな頃に縁結びistが始まったものですから即刻参加しました。講習会場で「どんな情報でもいいから教えて」と皆さんに呼びかけたことを覚えています。

田川 私は新聞記事を見て、自分もぜひと思い参加しました。毎日楽しく活動させていただいております。

吉田 私は仕事柄、長年縁談のお世話をしており、仲人会なども運営していました。常日頃、少子化対策には結婚を促すことが一番だと確信していましたので、県が少子化対策に乗り出すと知って、これはと思って谷内理事さんを訪ねたことが縁結びistにつながりました。未婚化や晩婚化の解消こそ少子化対策の最善策、と自信を持って活動しています。

信頼されてはじめて 本音が聞ける、話が進む

司会 現在どのような活動をなさっていますか。やりがいやご苦労など

も併せてどうぞ。

南川真 私の場合はまず、本人が結婚に前向きかどうかを確認し、それから相手に何を希望するかを尋ねます。でも、それが満たされたからといって首尾よく運ぶわけではありません。やはり内面が大切ですね。将来のビジョン、ライフスタイルなどを聞き、紹介するよう心がけています。

南川真 うちの場合、夫婦でしているのがとてもいいようです。夫がビジョンなどを男性の視点で尋ね、私は女性の気持ちを聞きます。お見合いが終わった後も二人でいろいろ反省し合ったり…。縁結びistが始まった当初はあまり世間に知られていなかったため、ボランティアだということがなかなか理解されませんでした。交流サロンができるなど、少しずつ認知され出したように感じます。

西野 昔のお見合いは親がかりで料亭などでしたのですが、今はコーヒー一杯飲むぐらいの気軽さで、時代も様変わりしました。

吉田 県外からの依頼が急増しているので、最近はそのようなお世話にも積極的に取り組もうと思っています。先日も、親御さんも娘さんも遠隔地にお住まいのケースを扱いました。直接会えないため、まず本人の意思を聞こうと電話でじっくりお話し

しました。幸い私を信用してくださって本音を話していただき、希望に見合う相手を見つけることができました。県外の方のお世話は難しいという声をよく耳にしますが、本人の気持ちをきちんと聞き出せば、うまく進む場合も多いと思います。そのためにも、信頼される話し方など配慮が必要ですね。

田川 信頼されるように、気持ちを引き出せるようにと、私も言葉づかいや身なりに気を使っています。

喜んでもらえることが 活動の原動力に

小橋 うれしいのはやはり、話がまわって本人やご両親、周りの方々に喜んでいただけたときですね。結婚式に招かれ、皆さんから感謝されると、してよかったとしみじみ思います。何回お見合いしてもなかなか決まらず、長い間おつきあいを続けている方もいますが、そんな方の縁談が決まると喜びもひとしおです。

田尻 私の一番の思い出は、最初の縁結びです。結納にも結婚式にも主人とともに招待されました。恩人と書かれた席に座り、花束を渡されて「今日の幸せがあるのは田尻さんのおかげ」といわれたときは胸がいっぱ



いに…。それに、若い方と接していると元気がいだけて若返ります。

中西 うれしいと苦労はいつも一緒にありますね。私の縁結び第一号の話ですが、ご両親に「中西さんは神様」といわれたことがずっと心に残っています。あれから4年、何回お見合いしてもうまくいかず、あきらめようと思うケースもよくありますが、そのたびに「神様」と感謝されたことを思い出し、「もう一回がんばってみよう」と自分を鼓舞しています。仲間の成功例や失敗例から学ぶことも多く、これからさらに技術を磨き、研鑽を積んでいきたいですね。相談の電話がよくかかるのですが、そのときにいい助言ができるとうまく運ぶような気がします。縁結びistの鍵は、信頼されること。自分のためにもなることと思い、一生懸命やらせていただいています。

アドバイスに生きる 豊かな人生経験

司会 皆さん、人生の先輩として助言なさっているようですね。

吉田 私は口下手な男性に、会話を進める秘訣を伝授しています。「シタシキナカニ」を覚えなさい、と。シは仕事、タは旅、シは趣味、キは季節、ナは仲間・友達、カは家族、ニはニュース。会話が途切れそうになったらこのフレーズを思い出して話をつなぎ、自分のエピソードを披露したり女性から話を聞き出して会話を膨らませなさい、そして女性の話に共感し、ほめてあげるんですよといっています。

中西 いいですね。実は私もよく使わせていただいています(笑)。

百海 私は、若い方に自分の人生

経験を交えてお話ししています。これをきっかけに人間としても成長して欲しいですからね。それから、結婚後に挨拶に来られるのも楽しみの一つ。二人で来る人、赤ちゃん連れの人…。ふだん夫婦二人暮らしですから、親戚が増えたような気持ちです。**田川** 苦しいこともあるけれど、私はいつも楽しいことだけを考えるようにしています。子どもが生まれた、初孫ができたという便りが届くたびに幸せな気持ちになります。苦情に対しても自分の考えをはっきり伝え、精一杯つくすことを心がけています。お見合いがうまくいかなかった、ふられて悩んでいる…。いろんな相談を受けますが、常に相手の身になって考え、自分なりの言葉で励まし、喜びを共にする中で幸せを掴んでいってほしいというのが私の活動のポイントです。

しあわせアドバイザー

縁結びist

電話相談

毎週火・水・木
9:30~13:00

※年末年始、祝日を除く
※第5週を除く

交流サロン専用電話 (共通)

076-255-1508

「縁結びist」は結婚したくてもなかなか出会う機会のない男女の結婚相談に応じ、ボランティアで仲人役を務める結婚アドバイザー。「縁結びist養成講座」の修了者で、現在の登録者は約300人。21年度の養成講座は6月20日・21日の2日間、石川県立美術館で行われ、日本青年館結婚相談所の板本洋子専門相談員の講演などがありました。

■合同セミナー開催

結婚したい男女108人と「縁結びist」との合同「結婚力UPセミナー」を12月13日に開催。日本青年館結婚相談所の板本洋子専門相談員やNPO法人花婿学校の 大橋清朗代表の講演が行われました。

交流サロン金沢
サテライト七尾
交流サロン
サテライト小松
サテライト輪島

不成功に終わっても「田川さんの一言が心を打った、これから気持ちを切り替えていきます」といってくださる方もいます。年齢が離れているから、おばあちゃんのような感じで話が素直に聞けるのかもしれませんが。年が近いと難しい気がします。遊んで暮らしたいという人も稀にいますが、そんな人には、苦勞してこそ生きがいを感じられる、本当の楽しみが見つかるのだと論じています。

司会 豊かな経験をぜひ若い方に伝えていただきたいですね。ところで、金沢のほか、小松、七尾、輪島に交流サロンを設けていますが、利用なさっていますか。

南川 定例会とか情報収集などに活用させていただいています。会ったことのない縁結びistさんでも仲間という安心感があるので、何か情報が欲しいときは縁結びistの名簿を見てお話し、知らないことを教えていただいたり、「ではサロンで会いましょう」となったり。縁結びist同士、ふれあう機会がもっとあっていいな

と感じます。それから、子どもを交えた場に参加する機会をもっと持てるといいですね。まだ結婚していない人に、子どもを持つ楽しさや身ごもった命の尊さを伝えてあげたい。縁結びだけでなく、もっとトータルな支援活動ができないものかと思案中です。

司会 先日、七尾で赤ちゃん登校日を行った際に縁結びistさんにもご参加いただきましたが、今後こうした機会を増やしていければと思います。どういう形にすれば皆さんの力を

さらに活かせるのか、考えていきたいですね。今日は将来につながるお話をたくさんお聞かせいただき、誠にありがとうございました。



『縁結びist』商標登録

少子化対策のブランド力を高め、他の事業者などの使用を防止するために、『縁結びist』の商標登録を申請していましたが、平成21年12月25日、登録されました。

感謝状贈呈

これまでに5組以上の成婚カップルを誕生させた『縁結びist』の方々に感謝状が贈られました。



●『縁結びist』表彰者のみなさん

- 田川 富美子 金沢市
- 田尻 恵子 金沢市
- 中西 浩一郎 金沢市
- 西野 すみ 金沢市
- 南川 貞夫 小松市
- 南川 真澄 小松市
- 百海 貞子 中能登町 (敬称略)



しあわせ発見事業～HAPPY PROJECT～

タウンミーティング

独身男女に出会いの場を提供する企画型イベント。県内各市町で随時開催しています。趣向を凝らした企画が盛り込まれ、定員を上回る応募があることも多い人気イベントで、21年度は計12回開催、700人を超える参加がありました。



平成21年度に行われたタウンミーティング

- 第25回 (7月5日) 能美市
- 第26回 (7月5日) 能美市
- 第27回 (8月1日) 七尾市
- 第28回 (9月6日) 内灘町
- 第29回 (9月20日) 金沢市
- 第30回 (10月10日) 金沢市
- 第31回 (10月17日) 輪島市 能登町
- 第32回 (11月23日) 白山市
- 第33回 (12月13日) 金沢市
- 第34回 (12月20日) 七尾市
- 第35回 (1月17日) 小松市
- 第36回 (3月21日) 能登地区 5市町



「子育てをみんなで応援する
地域づくりをめざして」

全国初のユニークな子育て支援策として、平成18年にスタートしたプレミアム・パスポート事業は、開始から丸4年。多くの企業の協力をいただき、子育て家庭の暮らしに根をおろし、さらなる充実に向けて取り組んでいます。プレパスを中心に広がる子育て支援活動をご紹介します。



プレミアム・パスポート事業

プレパス事業は、18歳未満の子どもを3人以上持つ世帯にプレパスを発行、プレパスを提示すれば協賛店から割引などの特典が提供されるサービスです。

現在では対象世帯のほとんどがプレパスを所持し、協賛店も県内で約2000店。小売店・飲食店から宿泊施設、金融機関まで多彩な企業が協賛しています。申請の簡略化や有効期間の延長、発行枚数の増加など利用環境の改善も進み、21年度はバーチャルモール「プレパス商店街」がオープンしました。

チャイルド・プレミアム事業

石川県では地域、特に職場で子育てへの理解を深めてもらおうと、いしかわ子ども総合条例で毎月19日を「県民育児の日」に定めています。来店時に子どもを一人以上連れていけば特典が受けられる「チャイルド・プレミアム事業」を進めています。



チャイルド・プレミアム協力店の目印

「チャイルド・プレミアム事業」のキャラクター「いくちゃん」もいろいろなイベントで活躍中です。

お店めぐりキャンペーン

誰でも参加できる企画。異なる3つのプレパス協賛店のレシート3枚(総額2000円以上)を1口として応募すると、抽選で毎月50人に素敵なプレゼントが当たります。

子育てサポートアイデア募集

毎年、子育て支援に役立つアイデアを広く公募し、採択された企画の実行者に活動費を助成しています。21年度も28事業の応募があり、ウェブサイトでの子育て情報システムと、絵本のリユース企画の2件が採択されました。

企業参加の子育て支援事業全国会議

企業と自治体が連携して行う子育て支援事業の一層の推進を図るため、平成22年2月5日、内閣府主催「企業参加の子育て支援事業全国会議」が東京で行われました。埼玉県や日本マクドナルド株式会社などと共に、石川県が事例発表としてプレパス事業などの取り組みを紹介。報告会後のディスカッションでも、石川の先進性に高い評価が寄せられました。

いしかわプレパス商店街

インターネット上にプレパス協賛店が出店するショッピングモールを開店。食品、育児用品、家具・家電、雑貨、車用品などあらゆる分野の商品がウェブ上で購入できます。県内外、子どもの有無を問わず、だれでも利用可能。プレパス所持者には協賛店から割引や送料無料などの特典が提供されます。また、イベント情報の掲載やリサイクル掲示板もあります。



パソコンから <http://www.i-oyacom.net/prepass-shop/>



赤ちゃんから学ぶ 相手を思いやる心、命の尊さ

赤ちゃん登校日

「赤ちゃん登校日」とは、赤ちゃんとのふれあいを通じて子どもたちに人間関係を築く力を学ばせるユニークな体験学習です。鳥取大学医学部の高塚人志准教授が提唱し、石川県では昨年度、2小学校（金沢市・加賀市）で実施、いたいけな赤ちゃんがもたらす教育効果が大きな反響を呼びました。21年度は、能登ではじめての「赤ちゃん登校日」が七尾市立高階小学校で実施されました。

小学生の表情が変化、赤ちゃんの教育力とは

七尾市立高階小学校の「赤ちゃん登校日」に参加したのは、4・5年生の14人と、7ヵ月未満の乳児・母親10組。10月2日と11月9日の2回、高階小学校で交流の場が持たれました。はじめはとまどい気味だった小学生たちも徐々に緊張がほぐれ、付き添いの母親に導かれて抱っこやおむつ替えなどに笑顔で挑戦。1ヵ月の間を置いての再会では、赤ちゃんの成長ぶりに驚いていました。

「言葉を話せない赤ちゃんと交流するには、自分の心を開いて向き合い、相手の気持ちを読み取る努力をしないとイケない。そこにコミュニケーション力が育ち、人を思いやる心がはぐくまれる」と高塚准教授。担当教諭は赤ちゃんに接する児童たちのしぐさやまなざしの変化に注目し、「赤ちゃん登校日」の可能性に期待を寄せました。

さらに多くの学校へ指導者養成も進む

8月25日、「赤ちゃん登校日」の実施に先立って指導者養成講座を開催しました。能登各地から22人の教諭・教育関係者が参加。講師を務める高塚准教授の話に聞き入りました。



ACジャパン 地域キャンペーン テレビ/ラジオ/新聞/雑誌/ポスター

先生は、腕のなか。

ACジャパン(旧 公共広告機構)が実施する地域キャンペーンのCM題材に「赤ちゃん登校日」が取りあげられました。平成21年7月から1年間、主に東海北陸地区で「おもいやり」をテーマに、テレビやラジオ、新聞、雑誌を通して活動が広く紹介されています。

協力:ACジャパン

石川県にはね、赤ちゃんが登校する、小学校があるんですよ。

(学校のチャイム)

赤ちゃん登校日授業。それは、思いやりの心を学ぶ体験学習なんです。

(生徒の声/よろしくお願いします。)

まだ言葉も話せない赤ちゃんたちを世話する子どもたちは、大変ですよ。

(赤ちゃんの泣き声)

「うーんどうして欲しいんだい。仲良くなりたいのになあ。」

でも、みんなすこしずつ気がついていきました。

「ほら、抱きしめたら、笑ってくれたよ!自分から心を開いていくことは大切なんです。

「大きくなあれ、思いやりの心。」

SL ♪AC

ラジオCM



ポスター
新聞広告

県民みんなが応援団 — 広がる支援の輪 —

「ふるさといしかわ子育て応援ファンド」基金事業

「ふるさといしかわ子育て応援ファンド」基金は、県内6つの金融機関が金利を優遇した商品を販売して資金を募り、運用益の一部を「子育てにやさしい企業推進協議会」に寄付するというもの。寄付金を活用して「赤ちゃん登校日事業」をはじめ、様々な子育て支援活動を行っています。

基金を活用した主な事業

- いしかわプレバス商店街事業
- プレバスお店めぐりキャンペーン事業
- チャイルド・プレミアム普及啓発事業
- 赤ちゃん登校日事業
- 独身向け結婚力向上講座
- 子育てサポートアイデア募集

「ふるさといしかわ子育て応援ファンド」基金 協力金融機関

北國銀行	金沢信用金庫	のと共栄信用金庫
北陸信用金庫	鶴来信用金庫	興能信用金庫

子育て家庭をみんなで！ 強まる、広がる応援の輪

「子どもと過ごす毎日が楽しい」。親が素直に喜べる社会の実現には、「子どもは社会全体の宝」との共通認識のもとに行政・企業・地域・家庭がつながり支え合う仕組みづくりが欠かせません。いしかわ子育て支援財団は、つなぎ手として機能的ネットワークの創造・拡大に努めています。



支える手に贈る「エンゼル券」

子育て応援エンゼルネット事業



▲子育て応援のお礼として「エンゼル券」が渡されます。

上から、七尾・白山・金沢の各市で使われているエンゼル券▶

ユニークな試みがスタートしました。子育てに関する応援に対して、感謝の気持ちを表すお礼として「エンゼル券」の受け渡しを行い、地域の子育て支援の輪を広げよう、助け合いの機運を盛りあげようという取り組みです。

事業の参加者は、子育て家庭、子育てボランティア(地域住民・子育て支援団体等)、子育て支援施設(保育所等)の3者。たとえば子育てボランティアが子育て家庭の託児応援をした場合は、子育て家庭から子育てボランティアへ、子育て家庭が保育所等の行事に参加応援した場合は、保育所等から子育て家庭へ、お礼として「エンゼル券」が渡されます。「エンゼル券」は1枚100円の商品割引券として、地域の協力店で使用可能。平成21年9月から平成22年3月まで、金沢・白山・七尾の3市でモデル事業として試行され、効果の検証後に、県内に広く普及を図る計画となっています。

仕事と家庭生活の両立をめざす

ワークライフバランス推進事業



▲コンサルタント養成講座で講義を行う、渥美由喜さん

▲「いしかわワークライフバランス」ホームページ
<http://www.i-oyacom.net/wlb/>

仕事と家庭生活を両立できる環境を整えるために、「ワークライフバランス」(仕事と生活の調和)を推進しています。21年度は、モデル企業に対するコンサルティングやコンサルタントの養成などに取り組んでいます。

モデル企業には、公募によってアクティビー(金沢市)と鶴来信用金庫(白山市)の2社を選定。渥美由喜さん((株)東し経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長)が、時間外労働の削減や短時間勤務制度の導入など、従業員が働きやすい職場環境の整備のためのアドバイスを行いました。また、企業に専門的アドバイスを行うコンサルタントの養成講座が、8月から10月にかけて計4回、渥美さんを講師に迎え、社会保険労務士や企業の人事労務担当者約30人に対して行われました。

専業主婦の育児不安を解消

子育て力向上モデル事業



▲保育園で保育体験をするお母さんと子ども

働く親ばかりでなく、専業主婦も気軽に保育園の力が借りられる「マイ保育園」に加えて、21年度新たに「子育て力向上モデル事業」を導入しました。これは、孤立しがちな専業主婦の育児不安を解消するのが目的。親に保育園の育児ノウハウを学んでもらうために、週1回計4回の半日保育体験を提供。同時に、子どもの一時預かりも計4回無料でを行い、保育園での生活を通して子どもの社会性の育成も図ります。

中小企業にも保育応援を

企業連携保育サポート事業



社内で保育所を設置していない企業に代わって、事業所内保育所と同様の機能を近隣の民間保育所に用意してもらい、子育て中の従業員が働きやすい職場づくりを進める事業を導入しました。対象企業は、産休明けもしくは育休明け後に職場復帰を予定する従業員や、勤務時間に合った保育所があれば利用したいと希望する従業員のいる企業。子ども一人から受け付け、企業の費用負担は不要。いしかわ子育て支援財団が保育時間などに柔軟に対応する保育所をお探しします。

個人の気持ちを企業が媒介

—県民参加型ふるさと いしかわ子育て応援事業— エンゼル・サポート事業



- 認定した取り組み
- 株式会社 北國銀行
北國ポイントサービス「ハッピーズ」を活用した寄付
- 株式会社 東京ストアー
買物ポイントサービスを活用した寄付、募金箱の設置
- 株式会社 サークルKサンクス
募金箱の設置
- 株式会社 サンクス☆ホクリア
募金箱の設置

県民参加型の子育て応援をめざすのが、「エンゼル・サポート事業」。県民の皆さんが日常生活の中で気軽に子育てを応援できるようにと、子育て支援に積極的な企業と連携。ポイント交換や募金箱などを通じて企業が寄付を取りまとめる仕組み。現在4企業に協力いただいており、引き続き協力企業を随時募集しています。

子育て家庭優良図書プレゼント事業 平成21年度は寄付金の一部を、石川県が推奨する優良図書のプレゼントに活用。未就学児を持つ家庭を対象で、プレバス協賛店に置かれた専用はがきがきで応募してもらい、抽選で毎月50人に素敵な絵本を進呈しました。

見つめる目も支える手も、もっと増やそう、育てよう



地域も企業もみんなで子育て

日本・親子の絆プロジェクト2009

日本海・子育て支援メッセ



▲育児用品
リサイクルショップは、
メッセでも大好評。

毎年恒例の大イベント「日本海・子育て支援メッセ」が10月3日、いしかわ総合スポーツセンターで行われました。子育て家庭に向けて企業・団体が趣向を凝らしたブースを開設、ステージイベントから体験・飲食コーナー、リサイクルショップ、移動水族館までさまざまな形の情報発信・交流が行われ、大勢の家族連れで賑わいました。



消防車や
移動水族館も
登場しました。



最優秀を受賞した川本陽子さん(内灘町)と
7歳の三つ子(男の子1人、女の子2人)のお子さん

家族でつくろう!「わが家の秋の行楽弁当」 コンテスト開催

食育の一環として、家族が子どもと食べる秋の行楽弁当コンテストを実施しました。集まった親子20組が指定の弁当箱に色とりどりの手づくり料理を詰め、受賞者には季節の果物や野菜の盛り合わせなどが贈られました。



[写真左]1段目は秋の森を、[写真右]2段目はハロウィンをイメージした受賞作のお弁当。

大人の社会を実体験

子どものまち「ミニいしかわ」



12月12日と13日の2日間、小中学生が楽しみながら就業体験する「ミニいしかわ」が開催されました。参加する子どもたちはまず、「市役所」で住民登録を行った後、「ハローワーク」で銀行員・警察官・看護師・記者など21種から自分の職業を選んで仕事を疑似体験。報酬として模擬通貨「まっし」をもらい、買い物や預金をするなどの体験を通して社会の仕組みやお金の流れを学びました。

健やかに育て! 未来の担い手

いしかわ子ども交流センターの活動

石川の子どもの夢をはぐくむ拠点、いしかわ子ども交流センター。昨年リニューアルし、利用する子どもや親が一段と増加しました。科学から芸術まで、子どもたちの好奇心を引き出し、子どもたちの可能性を伸ばす展示や催し、サークル活動などが毎日多彩に繰り広げられています。

繊維産業を知ってもらおう

最新繊維素材展示会

基幹産業として石川を長年支えてきた「繊維」を、もっと子どもたちに知ってもらおうとする展示会が6月初旬から8月末までの3ヵ月間開かれました。地元企業8社と東レ株式会社、金沢工業大学が協力。夢の繊維として脚光を浴びる炭素繊維などを通して、地元の産業や技術、環境への配慮などが紹介されました。

星空の楽しみ方

プラネタリウム団体向け番組

プラネタリウムには、いろいろな楽しみ方があります。今日の夜に見える星空のお話、昔から語り継がれている星座の物語、毎月内容を変えてお話しする天体の特集...などなど。一般の方と一緒に観覧もできますが、美しい星空や楽しいお話を自分たちの団体だけで楽しむこともできます。各団体向けに内容をアレンジして楽しんでもらうこともできます。



人材育成 + 研修会

子育てを支える人を育成

保育士や教諭から医師・看護師まで、子どもに関わる人々の育成・能力開発にも力を入れています。

保育所嘱託医・幼稚園医等研修会

さかいたけお赤ちゃんこどもクリニックの境武男院長による母乳をテーマとした講演と、アスペルガー症候群の子を持つ親の会「アスペの会石川」前理事長による講演が行われました。



事業所内保育施設等保育従事者研修会

金城大学大井佳子教授の講義は日頃の疑問や悩みを質疑応答の形で行われ、横井小児科内科医院横井透院長からは病気の子どもへの対処法について具体例を交えた指導がなされました。



男性保育士・幼稚園教諭研修会

石川・富山の男性保育士・幼稚園教諭30人が参加。野遊びのプロ集団「ろぜっとわーくす」中山康夫代表を講師に迎え、野外実習を交えた研修が行われました。



放課後児童クラブ指導者研修会

放課後児童クラブの指導員のスキルアップをめざして開かれる研修会。21年度は石川県立総合養護学校の杉江哲治教諭が、発達障害児との関わり方について講演しました。





サポート多彩! お気軽に ご利用ください。

子育て情報の発信はもちろんのこと、リサイクルショップの開催から育児サポーターの派遣、物品貸出まで、いしかわ子育て支援財団は子育てに関するさまざまな情報を提供しています。いつでもお気軽にご要望をお寄せください。

いしかわみやコミ!.net

イベントカレンダーや、動画配信等のコンテンツも充実! 育児情報や不審者情報、交流やメール相談など役立つ情報が満載です。

<http://www.i-oyacom.net/>

このHPIは、平成20年度郵便事業株式会社年賀寄付金の助成を受けて制作しました。



メールマガジン

web
ケータイ

子育てに関するイベントやセミナー、お役立ち情報、感染症情報などをメールでお届けしています。パソコンでも携帯電話でもご利用いただけますので、ぜひご登録ください。



メールマガジン

イベント・セミナー・子育てに関する情報 ● 原則 毎月1回配信
感染症情報 ● 原則 毎週1回配信

パソコン

<http://www.i-oyacom.net/mailmagazine/>

ケータイ

<http://www.i-oyacom.net/mobile/mailmagazine/>

子育てメール相談

web
ケータイ

パソコンでも携帯電話でも手軽にアクセスできます。子育てに関することなら何でもご相談ください。専門の相談員がメールでお返事します。

※緊急を要するもの、生命に関わるもの、医療・健康上のご相談は、専門機関にお尋ねください。



メール相談

パソコン

<https://www.i-oyacom.net/ouen/mail/>

ケータイ

<http://www.i-oyacom.net/mobile/mail/>

イベント情報

web

子育てに関するイベントやリサイクルショップの日程など、お役立ち情報を紹介。イベント情報の掲載申し込みはホームページ上からも行えます。



育児用品リサイクルショップ

web

子供服や育児用品に特化したフリーマーケットです。毎回開場前には行列ができるほど大人気、いしかわ総合スポーツセンターを会場に開催されています。お買い物はもちろん、出店も大歓迎です。

※詳細は財団へお問い合わせください。日程などはホームページでもご覧いただけます。

子育て便利帳

web
冊子

子育てに便利な情報が満載。「預ける」「集う」「相談する」「利用する」「石川県内の子供の救急」のテーマ別に、頼れる施設やサービスを紹介しています。石川県内の保育所・幼稚園、小児科などの病院の一覧の「資料」もあります。



子育て支援人材データベース

web

子育ての分野の専門家情報を集めたデータベース。講師などをお探しの際にご活用ください。講師の連絡先などは財団までお問い合わせください。

分野別一覧

職業別一覧

で検索できます。

貸出&ライブラリー

web

子育てに関する遊具や教材などを無料で貸出します。育児教室、サークル、イベントなどにご利用ください。

- 着ぐるみ (8種類) 他
- 積み木セット
- 「台所育児食育調理」 & 「子ども用調理器具」
- トーンチャイム
- ふわふわうさぎ
- バルーンドーム
- 本&DVD・ビデオ
- 遊具&教材

おはなしてぶくろ
ミュージカルかみしばい
パネルシアター
かみしばい など



ミルクカー

「ミルクCar」は、「ミルクBar」(ミルクの試飲コーナー・オムツ替えや授乳スペース)機能を搭載した便利なミニバン。

子育てイベントで大人気の「ミルクBar」の移動が容易になり、各方面で大活躍中です。

(金沢信用金庫より贈呈)



子育てのプロがサポートします!

当財団に登録いただいている有資格者(保育士、幼稚園教諭、看護師など)の育児サポーターが、イベント保育室の一時保育、子育て教室や育児サークルでの手あそび指導、パネルシアター上演などで活躍しています。お手伝いが必要なときはぜひ声をおかけください。

育児サポーター派遣事業

● わくわく子育て教室 ●

保育所や幼稚園を開放して育児教室などの子育てイベントを開きたい方はご相談ください。育児サポーターがお手伝いします。

● イベント保育室 ●

コンサートなどのイベントで臨時保育室を開設する際、サポーター派遣や遊具貸出を行います。

● 「親業」モデル人形劇派遣 ●

子育て経験の少ない親に、人形劇を通して子どもへの接し方やしつけを教えると同時に、「親業」の大切さを伝える全国初の取り組みです。ご要望に応じて出前上演します。

● 育児サークル支援 ●

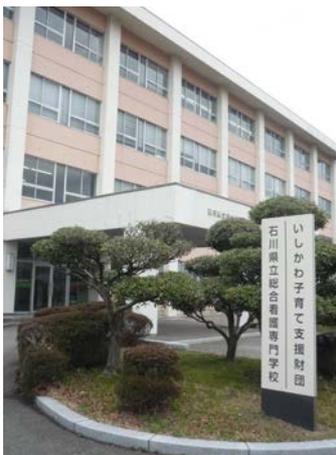
地域で自主活動を続ける育児サークルへ育児サポーターを派遣し、手あそびや読みきかせ等の指導や活動についてアドバイス。サークルの運営を後押しします。

● おはなし広場 ●

子育てへの理解と支援を促すために、デパートのイベント広場など、誰もが気軽に利用できる場で開催する子育て教室です。ご希望の場所で出前開設します。

事務所移転のご案内

いしかわ子育て支援財団は、これまでのプレミアム・パスポート事業などに加え、新たに企業に対する一般事業主行動計画の策定支援などの事業を実施するにあたり、企業の関係団体や行政機関が集積する駅西地区に、平成21年6月1日に事務所を移転いたしました。



縁結び ist 交流サロン

交流サロン専用電話 (共通)

076-255-1508



交流サロン金沢	金沢市鞍月東2丁目1番地 (石川県立総合看護専門学校内)
サテライト七尾	七尾市松物町35 (のと共栄信用金庫本店 5階研修室)
サテライト小松	小松市符津町念佛3-1 (いしかわ子ども交流センター 小松館)
サテライト輪島	輪島市三井町洲衛10部11-1 (石川県奥能登総合事務所 4階)

いしかわ子ども交流センター

いしかわ子ども交流センター

〒921-8101 金沢市法島町11-8
TEL:076 (243) 6501 FAX:076 (243) 6774



いしかわ子ども交流センター 七尾館

〒926-0024 七尾市古屋敷町カ10-3
TEL:0767 (53) 3396 FAX:0767 (53) 3397



いしかわ子ども交流センター 小松館

〒923-0302 小松市符津町念佛3-1
TEL:0761 (43) 1075 FAX:0761 (43) 1076



oyacomini note

[おやコミnote] 平成22年3月発行 (掲載されている内容は平成22年3月1日現在のものです。)

財団法人いしかわ子育て支援財団

〒920-8201

金沢市鞍月東2丁目1番地

(石川県立総合看護専門学校内)

TEL: (076) 255-1543

FAX: (076) 255-1544

[URL] <http://www.i-oyacomini.net/>

[E-mail] info@i-oyacomini.net



おやコミトップページ



【アクセス】
JR金沢駅 西口バスのりば6番より「中央病院前」下車すぐ、
または「県庁前」下車徒歩8分